

ナラ枯れ 被害

平成22年、川西市ではじめて発生した「ナラ枯れ」。今年は、緑の山に紅葉したように茶色になった木々が目立っています。「カシノナガキクイムシ」という小さな虫が原因の伝染病。コナラやミズナラなどに発生中。また、「ナラ枯れ」の木の根元に「カエンタケ」という猛毒キノコが川西（舎羅林山）でも発生中。触るだけでも皮膚炎を起こすくらいの猛毒です。（食べて死亡例有）

絶対に触らないでください！

猛毒キノコ カエンタケ



カシノナガキクイムシ

下の写真は、9月初め、舎羅林山で「ナラ枯れ」の根元に発生した猛毒「カエンタケ」。人参やカニの爪のように可愛らしい様相をしていました。これから、ハイキングや里山歩きなどのシーズンを迎えます。

近隣市町でも発生が確認されています。くれぐれも触らないように、子ども達にも注意を促してください。（3g程度の摂取で死亡するくらいの猛毒）



ネットより

「ナラ枯れ」の被害、猛毒キノコ「カエンタケ（火焰茸）」の発見などの情報は、川西市役所・産業振興課（072-740-1164）までご連絡を



日本共産党市議会議員 **黒田みちの**
たんぽぽだより（号外）

川西市丸山台3-2-113（☎790-3055）